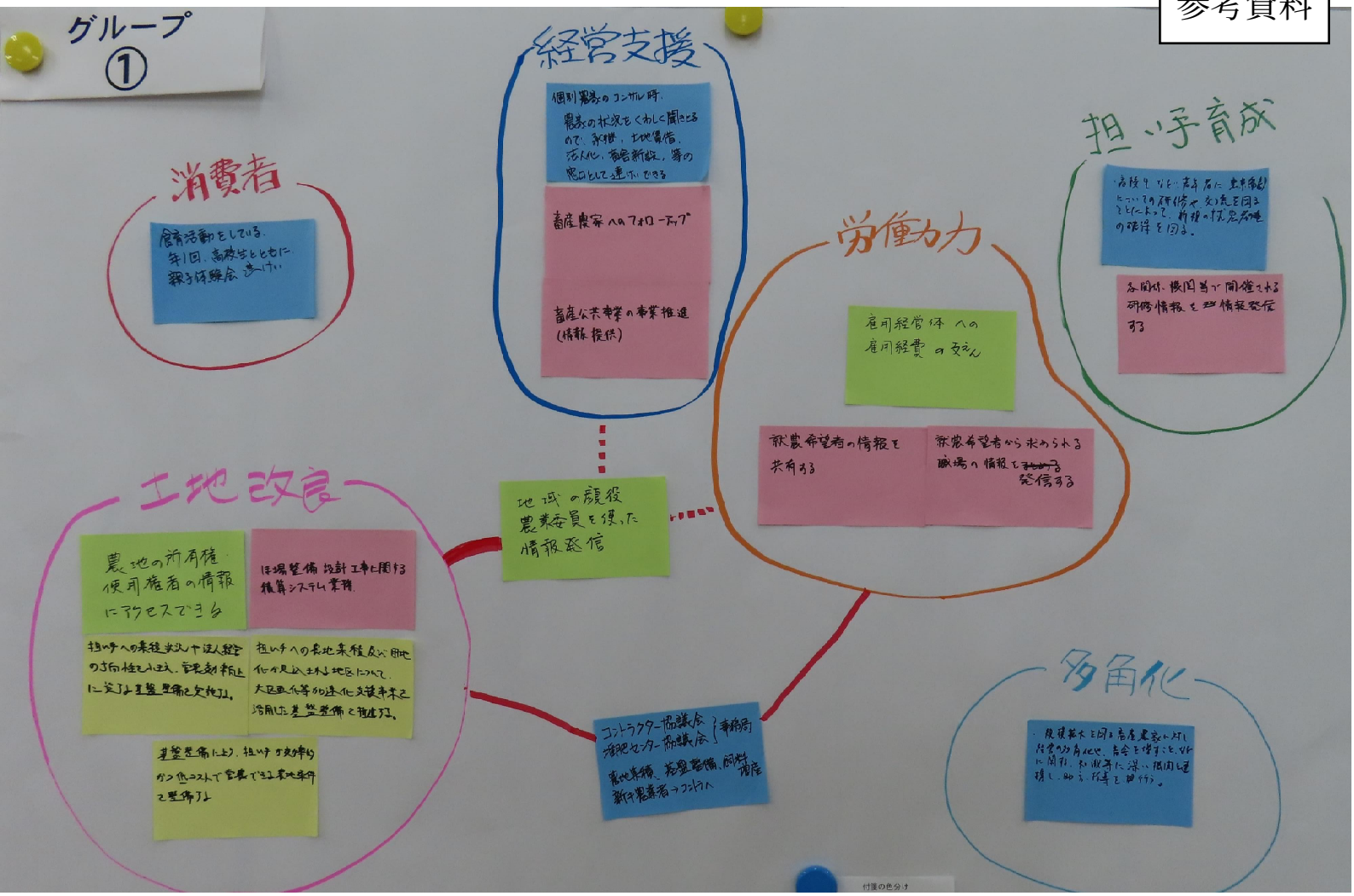
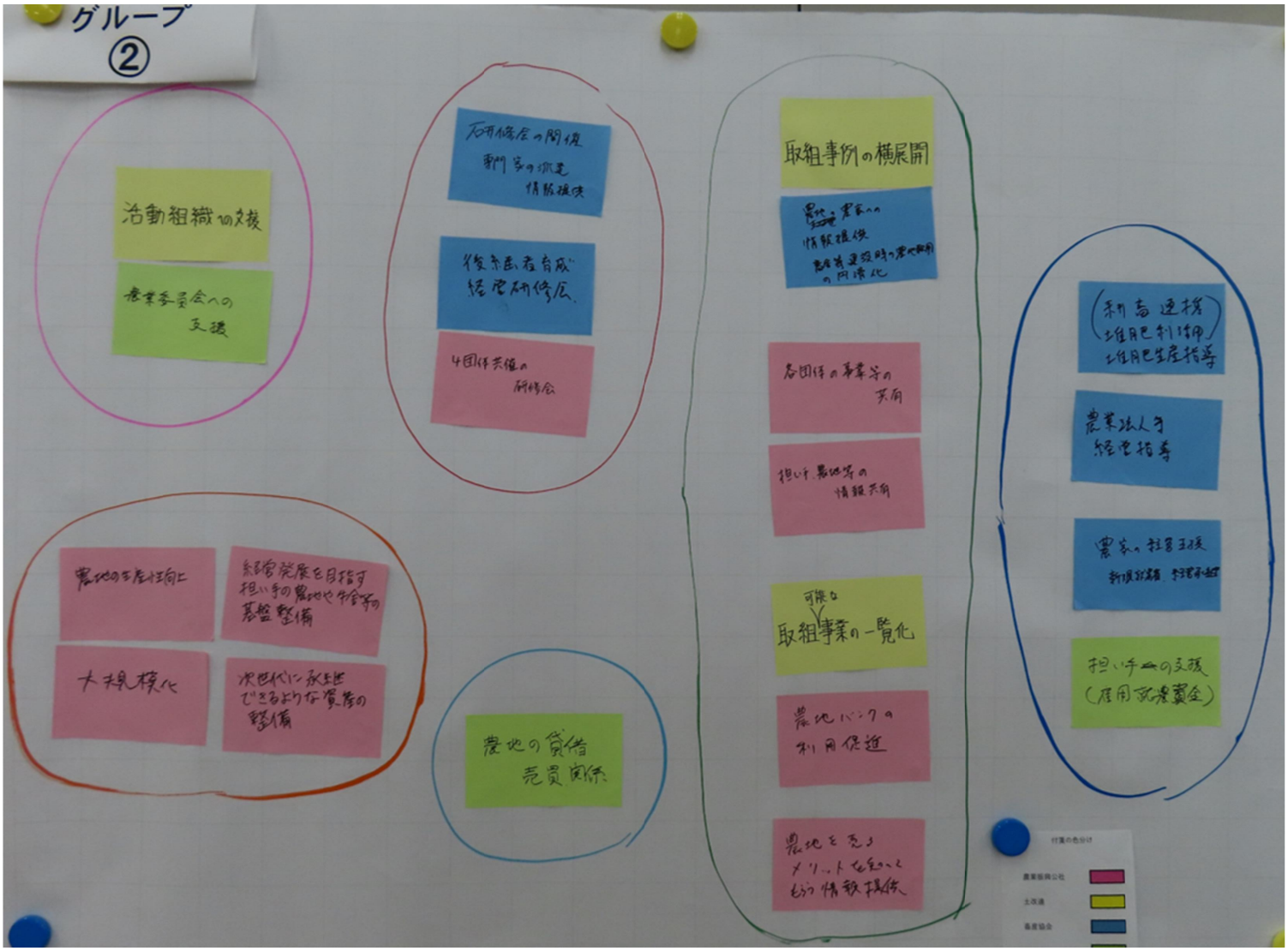
参考資料


グループ①
経営支援
個別農家のコンサル時、農家の状況をくわしく聞きとるので、承継、土地貸借、法人化、意思新規化、等の窓口として連携できる
畜産農家へのフォローアップ
畜産公共事業の事業推進（情報提供）
消費者
食育活動をしている。年1回、高校生とともに親子体験会 やっけい
担い手育成
高校生 ＋ JA青年部に農業情報について、その研修や交流を図ることによって、新規の就農者の確保を図る。
各関係機関等で開催される研修情報を情報発信する
労働力
雇用経営体への雇用経費の支援
就農希望者の情報を共有する
就農希望者から求められる職場の情報を発信する
地域の履歴農業委員を使った情報発信
土地改良
農地の所有権・使用権者の情報にアクセスできる
ほ場整備 設計 工事に関する積算システム業務
担い手への集積率及び法人経営の方向性を決定、意思新規化に資する基盤整備を実施する。
担い手への農地集積及び耕地化が見込まれる地区について、大区画化等が効率化・効率的な基盤整備を推進する。
基盤整備に伴い、担い手が効率的かつ低コストで営農できる農地条件を整備する
コントラクター協議会 作業組織協議会 } 事務局
農地集積、農業整備、飼料畑、畜産
新規就農者→コントラクター
多角化
・規模拡大を図る畜産農家に対し経営力の強化や、集会を使うことに関する、知識等に深い関係を積し、助言指導を行う。


グループ②
活動組織の支援
農業委員会への支援
研修会の開催
専門家の派遣
情報提供
後継者育成
経営研修会
4団体共催の研修会
取組事例の横展開
農業者への情報提供
既存建設時の事例の明確化
各団体の事業等の共有
担い手、農地等の情報共有
可能な取組事業の一覧化
農地バンクの利用促進
農地を売るメリットを知ってもらう情報提供
（利子補給 地域農業利子補給 地域農業生産指導）
農業法人等経営指導
農家の経営支援
担い手への支援（雇用就農資金）
農地の生産性向上
経営発展を目指す担い手の農地や作業等の基盤整備
大規模化
次世代に承継できるような資産の整備
農地の貸借売買関係

グループ
③
3利性
将来の畜産を担う高校生等を対象に合同研修会を開催
農業会ギでは農業者向けセミナーを開催しているが、農業者の参加少ない…
堆肥センター、協議会、コントラクター、協議会の事務局を担当している耕畜連携等の研修会の開催
各団体が主催する農業者向け研修会などそれぞれの団体の事業の部分(情報提供)PRさせてもらえるといいなあ
畜産の担い手を対象とした研修会及び交流会の開催(経営コンサル)
合同相談会
・農地事務
・経営改善
・農用地保全など
ワンストップを支援
17Pc(みやざき養豚生産者協議会)を通した若手養豚家向けのセミナー開催や宮大学生、先生との交流
新規就農(個人・法人)受入体系整備に関する連携
農地を確保し新規就農者の経営基盤を確保(新規の事業者、創業サポート)
担い手がいない農地の新規・企業参入者と呼びかけ
(担い手がいる農地)
(担い手がいない農地)
情報共有
主体は生産者共有しませんが、生産経営関係の情報
・法人化支援
・事業計画支援
・事業承継(誰がどう事業をつなぎ、どうやってやるかの)
差額整備計画の情報提供
米工程情報システムへ(情報共有)
新規就農者への農地のあっせん(売り渡し)
農業委員会サポートシステム
農地を売りたいけど(手放したい)
買い手がいない…
中山間 小さい区画
新規就農者(担い手)へ農地できる情報の共有と振り返し
中間的担い手への優良農地の集約・集積
農地の有効活用
耕作放棄地の解消
関係者
農地・人・資金
どこに聞けばいいか
ワンストップ窓口
付箋の色分け
農業振興公社
土改連
畜産協会
農業会議
合団体の活動の連携

グループ
④
維持
農地保全
農業生産基盤の整備
・大区画化
・農道拡幅
データの一元化
成功体験者・法人の実績の共有
(良いイメージ戦略)
農地集約化の見える化
(地図作成)
情報を共有できるデータバンク
情報ハブ
農家への情報提供
SNSでの発信
国土改変
新規就農者への支援・体制づくり
(不安の解消)
情報共有
(困り事)
困り事に対する解決策の提案
堆肥の行き先
農地情報(売)を集約して集中化に繋がる情報入れ
農業振興公社
付箋の色分け
農業経営者間の交流・共生
「経営を学ぶ農家」になるには
担い手の集団 支援になる
各団体で支援対象者・法人等の情報共有による効果的な経営支援
新規就農者～農業者と地区農業委員会との連携による農地集積 集約への支援
(話し合い…)
今団体の連携を進める為には対する それぞれの事務内容を知るいかに理解しているかが大切
現場の情報や意見をスムーズに伝達する団体にならなければならない
新たな役・予算枠を作り、はもれ共同。
新規就農者への意識醸成と資材 技術の承継

グループ
⑤

付箋の色分け
- 農業振興公社
- 土改連
- 畜産協会
- 農業会議

① 情報共有の場作り

担い手の情報を集める、共有する！

公社 / 農業委ギ / 本部 / 畜産協会 / 土改連

集約希望者の情報共有

担い手農地の分布図作成

離農者の情報共有

コントラクター協議会と連携して、集積した土地(農地)を活用した飼料作物の集約栽培→生産効率の向上

区画拡大！！

→ 4団体で担い手を応援！！

② 担い手 情報の共有から求めるニーズに応える研修制度

県・市町村・地元とのつなぎ役

売買市場の本業内延タイプにおいて、各市町村へ土改連が拠点に関する助言をしてもらう

担い手のやりたいこと具現化する。

制度や取り扱い等の改正時に農業委員会への周知を農業会議からもしてもらえる

各協議会等が開催する研修会の内容の協力による質向上

事業承継を希望する方に対する経営・衛生の研修、個別相談への制度説明会

予防接種を相談するため、新規参入者に対する研修会や講演会の開催

ワンタッチ！！

協議・研修

農地シャッフルの協議場づくり

経営がうまくいっている人から個別に教えてもらう（研修）

担い手のお悩み相談を受けてAI解決・専門家を紹介

整備前の現状把握の見える化

4団体で担い手を応援！！

現状の改正の際、情報共有に約い、不備のない改正に約い、職員の働く環境を整えることで、担い手の育成に繋がる（県に有ることが多い）

全国農業新聞を使ってPR（4団体連携の）

食育活動や農政、農業との教育強化による参入者の増加に繋がる

4団体連携ポスター作成

デジタル化等の工夫を入れた際に情報共有し、4団体全体の働きやすい職場環境を整えることで、各年度中ハッピー

牛

果物